

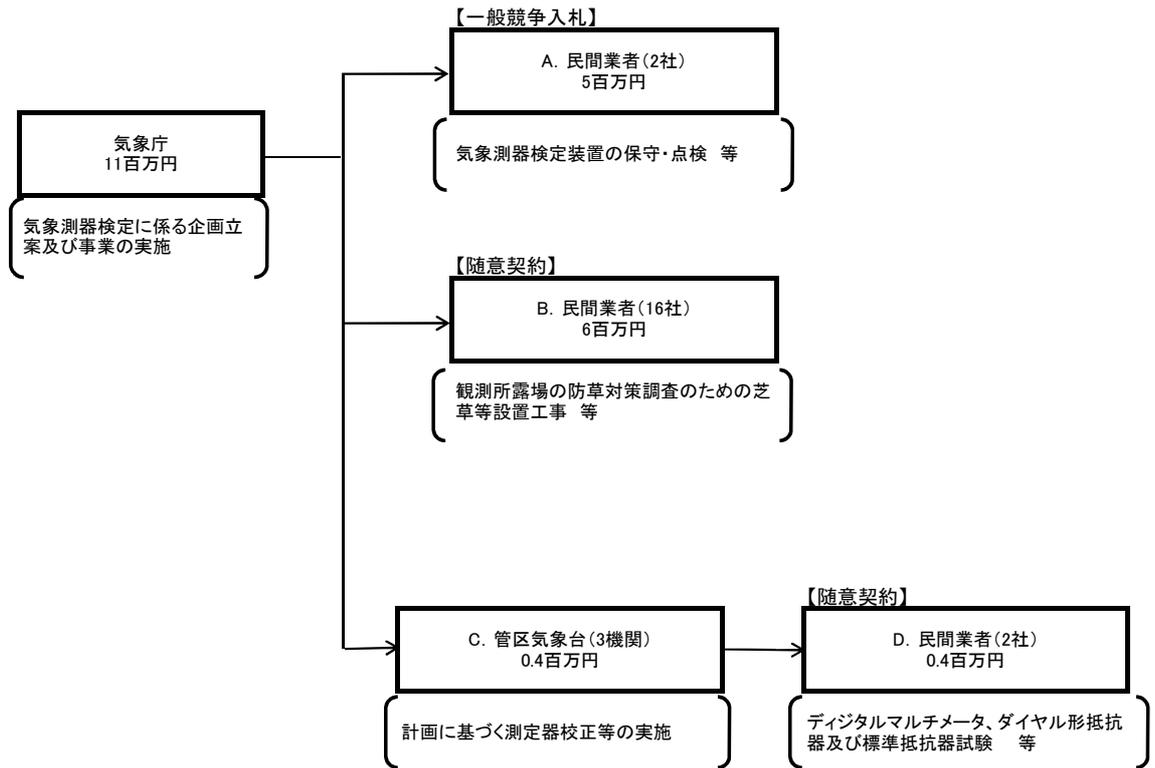
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	気象測器検定	担当部局庁	気象庁観測部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～	担当課室	計画課	課長 赤枝 健治			
会計区分	一般会計	政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第6条、第9条、第32条 他)	関係する計画、通知等	防災基本計画(昭和38年策定) 世界気象監視計画(WMO策定、昭和38年開始)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政府機関や地方公共団体等が行う気象観測に使用する気象測器の検定・検査を行い、観測データの精度維持を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	気象庁がアメダス観測で自ら観測を行う全国の気象測器について、定期的に測器検定装置により検査を実施し、観測誤差が許容の範囲内にあることを確認する。 また、気象業務法に基づき気象観測を行う部外機関が使用する気象測器は、気象観測に適した測定器である必要があり、気象庁は、申請された気象測器の構造が基準に適合するかどうかを検査し、型式証明を行う。 さらに、部外機関が行うべき気象測器の検定業務について、受託により実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	9	16	11	12	11
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	9	16	11	12	11
		執行額	9	16	11		
	執行率(%)	99%	99%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	72時間先の台風中心位置の予報誤差(過去5年の平均)を平成27年までに260kmとする。	成果実績	km	302	305	314	260 (27年度)
		達成度	%	86	85	83	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	気象測器検査数	活動実績 (当初見込み)	台	16,433	15,257	15,675	- (15,788)
	型式証明書発行数		件数	15	6	7	- (9)
	検定料収入		千円	2,227	1,003	1,125	- (1,265)
単位当たりコスト	0.7 (千円/台)	算出根拠	24年度執行額/24年度気象測器検査数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.01	0.01	・予算執行調査に伴う減▲0.039			
	観測予報庁費	12	11	・維持費の自然減▲0.982			
	計	12	11				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・不正確な観測データが社会に流出し防災対応への支障や国民一般に混乱を招くことを未然に防ぐために必要不可欠であり、広く国民のニーズがあり、政策の優先度の高い事業である。 ・気象業務法に基づき、気象観測に使用する気象測器の検定・検査は気象庁が担当することになっており、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・検定に使用する測定器の点検等の役務の調達において競争性を確保するなど、効率的、効果的な予算執行に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・公共性の高い観測に使用する気象測器を一定の規格に適合させ、十分な精度を維持するために十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>不正確な観測データが社会に流出した場合には防災対応への支障や混乱を招くおそれがあるため、公共性の高い観測に使用する気象測器を一定の規格に適合させ、十分な精度を維持することは気象災害を未然に防止する観点から必要不可欠である。このため、本事業を継続する必要がある。</p> <p>また、事業の実施に当たっては、検定に使用する測定器の点検等の役務の調達において競争性を確保するなど、効率的、効果的な予算執行に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	より効率的かつ効果的な業務となるよう、業務の見直しを図るべき。					
	引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	維持費の自然減 引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努める。					
備考						
<p>・総務省の行政評価・監視(平成22年度)において、以下の勧告を受けている。</p> <p>「3 組織及び業務運営の合理化・効率化 (3) 気象観測に係る規制の見直し イ 気象測器の検定 国土交通省は、気象測器の検定について、気象測器の受検状況、検定の合格率等の実態を踏まえ、気象測器の使用者の負担軽減を図る観点から、その在り方に関する検討を行い、見直しを行う必要がある。」</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	466	平成23年	498	平成24年	498

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

旅費  
10千円

※少額のため千円単位

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)第一科学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	気象測器検定装置の保守・点検	3			
計		3	計		0
B.(有)荒井緑化土木			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	観測所露場の防草対策調査のための芝草等設置工事	1			
計		1	計		0
C.東京管区気象台			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	デジタルマルチメータ、ダイヤル形抵抗器及び標準抵抗器試験	0.175			
計		0.175	計		0
D.日本電気計器検定所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	デジタルマルチメータ、ダイヤル形抵抗器及び標準抵抗器試験等	0.346			
計		0.346	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)第一科学	気象測器検定装置の保守・点検	3	1	98.84
2	ヤマト運輸(株)	気象測器他の輸送(単価契約)	2	1	95.22
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)荒井緑化土木	観測所露場の防草対策調査のための芝草等設置工事	1	随意契約	-
2	(独)製品評価技術基盤機構	技能試験手数料 等	0.884	随意契約	-
3	(独)産業技術総合研究所	鏡面冷却式露点計の校正 等	0.669	随意契約	-
4	(株)風工学研究所	北の丸・大手町気象観測露場の風観測用機器設置及びデータ収録作業	0.567	随意契約	-
5	日本電気計器検定所	ISO17025認定取得のための研修受講 等	0.373	随意契約	-
6	(有)ナカショウ	RS232C/RS422変換コネクタほかの購入	0.318	随意契約	-
7	幸和商事(株)	アルミ製額縁A型看板ほかの購入 等	0.289	随意契約	-
8	アルバック イーエス(株)	真空計の校正	0.273	随意契約	-
9	横河電子機器(株)	JMA-10型転倒ます形雨量計用品の購入	0.267	随意契約	-
10	一般財団法人 日本品質保証機構	測定器の校正	0.232	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京管区気象台	デジタルマルチメータ、ダイヤル形抵抗器及び標準抵抗器試験	0.175	-	-
2	仙台管区気象台	測定器の校正	0.171	-	-
3	大阪管区気象台	計測機器の定期点検	0.058	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気計器検定所	デジタルマルチメータ、ダイヤル形抵抗器及び標準抵抗器試験 等	0.346	随意契約	-
2	(財)日本品質保証機構	計測機器の定期点検	0.058	随意契約	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-